

ボランティアの心構え

1 基本的な留意事項

①自分のことは自分で

被災者の支援のためにここに来ています。だから、被災者の方に世話になるようなことだけは避けなければなりません。健康管理はもとより、食事や宿泊場所の確保、交通手段、持ち物の保管など、自分のことは自分で守ってください。なお、事故への対応策として、ボランティア保険には事前に入ってください。

②被災者の立場に立った活動を

- ・被災者は、心身ともに疲労し、時には混乱しているときもあります。災害ボランティア活動では、そのような方々と接することとなりますので、あいさつや言葉遣いなど基本的なことを大切にしてください。そして、「やってあげる」ではなく「一緒にやらせてもらう」という気持ちで、「何が求められているか」、「何をやるべきか」をしっかりと理解して支援に臨んでください。
- ・写真撮影はしないでください

③集団行動のルールを守りつつ、自分で考えて行動を

災害ボランティア活動は複数人で支援するので、勝手な判断や行動はやめましょう。被災者の指示、リーダーの指示などを確認しながら活動してください。ただし、活動は協力し合っただけのものでもありません。自分自身の役割だけでなく、周囲の様子をよく見て自分で考え、今、自分ができることをやる意識をもってください。

④状況によっては断る勇気を

気持ちが先走り、できないことを受けてしまうことがあります。できないことを引き受けてもトラブルになるだけです。できないことは断る勇気を持ってください。

⑤被災地住民の自立を支援する活動を

被災者とボランティアが復興に向けてともに協力して活動は進められていきます。やり過ぎは、被災者の自立を遅らせることへとつながります。災害ボランティア活動は、「支援」と「自立」のバランスを常に考えながら望んでください。

⑥個人情報取り扱いには注意を

災害ボランティア活動は、個人の生活の場での活動もあり、そのような活動先では、個人情報に触れることが十分考えられます。もし、個人情報を得た場合には、他の者に漏らすことの無いよう、その取り扱いに十分注意してください。

2 服装及び持ちもの

災害の種類や規模、活動時期によって異なりますが、ここでは、基本的なものを明記します。

〔服装〕汚れてもいい服装であり、ケガ防止のため、長袖・長ズボンを着用してください。

〔長靴〕長めの長靴に踏み抜き防止のインソールを入れたものが適しています。

〔帽子〕頭部の保護及び日射病・熱射病対策のため、必ず着用してください。

〔マスク〕粉じんやアスベスト等を吸い込まないように、マスクを着用してください。

臭いを防げるよう、防じん・防臭のマスクが適しています。

〔持ちもの〕

- ・軍手 ・ ゴム手袋（厚手ですべり止めのあるもので長めのもの） ・ タオル（数枚）
- ・着替え ・ 雨合羽（少雨の中での活動に備えて） ・ 薬（目薬やうがい薬は持っていきましょう）
- ・食べ物（腐りにくいもの） ・ 飲み物（塩分が入ったスポーツドリンクが最適）